

別紙の譜例をみて、以下の各問いに答えなさい。(なお譜例は試験問題に適するよう、原譜より一部変更している。)

問1. ㉗～㉙の音程を答えなさい。(例:「短3」度。なお複音程は単音程に直して答えること)

問2. 問1で答えた㉗～㉙の音程のうち、転回音程の関係にあたるものと異名同音程の関係にあたるものをすべて答えなさい。
(例:「ウとカ」)

問3. い～ほの和音について、その種類(例:「長三和音」)と転回形(例:「第1転回形」)を答えなさい。

問4. この譜例における調の推移について以下の問いに答えなさい。

(1) ①小節目および⑤小節目の調をそれぞれ日本語で答えなさい。(例:「ハ長」調など)

(2) ①小節目は主調です。⑤小節目について主調からみた調の関係を答えなさい。(例:「属」調など)

問5. にの和音について、この和音(異名同音も含む)が属する調を日本語で4つ答えなさい。

ただし、調号は♯と♭それぞれ6つまでの調で考えること。

問6. Aで囲まれた部分を減4度低く、臨時記号を用いてアルト譜表上に書きなさい。

なお、スラーは省略しないこと。

問7. Bで囲まれた部分を階名で歌う場合、以下の①から④のうちどれが適切か、数字で答えなさい。

①ド・ファ・ソ・ラ・ラ・ソ・ファ・シ・シ・ラ・ソ ②ミ・ラ・シ・ド・ド・シ・ラ・レ・レ・ド・シ

③シ・ミ・ファ・ソ・ソ・ファ・ミ・ラ・ラ・ソ・ファ ④ソ・ド・レ・ミ・ミ・レ・ド・ファ・ファ・ミ・レ

問8. ⊗の和音を下属和音とする調の平行調の導音を上主音とする短調の和声短音階の上行形を、主音から主音まで調号を用いずにソプラノ譜表上に全音符で書きなさい。

問9. 以下の文章の(1)から(10)について、もっとも適切と考えられる言葉を枠内の選択肢から選び記号で答えなさい。
選択肢は1度しか使えないものとする。

譜例の楽曲は(1)までがプレリュードにあたる部分で、(1)の3拍目から主題が提示され(2)がはじまる。⑨小節目から⑬小節目まで、上声部の和音変化に関わらず続くバスの音は(3)と呼ばれる。

この楽曲は1756年ザルツブルクに生まれ1791年ウィーンに没した(4)の作曲家、(5)が没年に作曲したものである。(5)は幼い頃から音楽の才能を発揮し、(6)と呼ばれていた。題名にあるPHANTASIEとは日本語で(7)と訳されることがある。また、Orgelwalzeとは、自動オルガンのバレル(オルゴールにとってのシリンダーに相当)のことである。

(5)の14年後に生まれた作曲家(8)も、パンハルモニコンという自動演奏楽器のための楽曲を残している。パンハルモニコンを開発した技術者メルツェルは(9)の特許取得者としても知られている。(8)はメルツェルと親交があり、(9)によるテンポ表記を積極的に用いた。また、(8)はメルツェルの作った(10)を使用して音を聴いていたとも伝えられている。

- Ⓐ ⑩小節目 Ⓑ ⑫小節目 Ⓒ ⑬小節目 Ⓓ ソナタ Ⓔ パッサカリア Ⓕ フーガ Ⓖ 根音 Ⓗ 保続音 ⓘ 通奏低音
Ⓙ 古典派 Ⓚ 印象派 Ⓛ 国民楽派 Ⓜ モーツァルト Ⓝ バッハ Ⓞ ハイドン Ⓟ 楽聖 Ⓠ 神童 Ⓡ 音楽の父
Ⓢ 狂詩曲 ⓘ 幻想曲 Ⓤ 交響曲 Ⓥ サリエリ Ⓦ ベートーヴェン Ⓧ チューナー Ⓨ メトロノーム Ⓩ 補聴器

譜例

PHANTASIE für eine Orgelwalze

① Allegro ② ③ ④ ⑤

⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

⑪ A ⑫ X ⑬ B ⑭ ⑮ ⑯

⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒

い ろ は に ほ

カ

ク ケ

コ

イ ア ウ

Detailed description: This is a musical score for an organ piece titled 'PHANTASIE für eine Orgelwalze'. The score is written for three staves: two treble clefs (upper and middle) and one bass clef (lower). The key signature is three flats (B-flat, E-flat, A-flat), and the time signature is common time (C). The piece is marked 'Allegro'. The score is divided into measures numbered 1 through 22. The lyrics 'い ろ は に ほ' are placed below measures 1-5. There are several annotations: circled numbers 1 through 10 pointing to specific notes; circled letters 'イ', 'ア', 'ウ', 'カ', 'ク', 'ケ', and 'コ' pointing to notes; circled letters 'A', 'B', and 'X' marking sections; and dashed lines connecting notes to their corresponding annotations. The notation includes various rhythmic values, accidentals, and phrasing slurs.